

南河内地区 支援部会

講演会「愛着障害の理解と支援」

○講師 米澤 好史先生（和歌山大学教育学部 教授）

米澤先生が「話したいことをすべて話そうとすると、10 時間くらいかかる」とし、以下の二つについて、特に詳しく、ご講演いただいた。

☆愛着（アタッチメント）とは？

『特定の人と結ぶ 情緒的な こころの絆』

愛着障害は、気持ちで人とつながることができず、気持ちがちゃんと育っていないことである。施設で育った、虐待を受けた子どもだけが愛着障害になるということは、間違っている。また、幼い子どもだけに多いと思われる愛着障害だが、誰にでも起こりうるものであり、大人でもなる可能性はある。さらに、いつでも取り戻せる上に、誰にでも形成、修復可能である。両親や保護者が関わっていくものだと思いがちだが、先生や友達など誰にでも形成したり、修復したりできる。

☆愛着の問題を抱える子どもの発見ポイントは全部で 11 項目に分類される。

①多動：ムラがある

②モノとの関係

③口の問題

④床への接触

⑤人への接触

（前や後ろから接触するより、横から寄り添うようにする）

⑥姿勢・しぐさ・服装

⑦危険な行動（感情をまぎらわせるため）

⑧愛情欲求（注目されたい行動）

⑨自己防衛=ウソ

⑩自己評価の低さ

⑪片付け

中には、ADHDやASDと同じポイントもあるが、少し違いがある。

例えば、①多動において、

ADHD：いつも（多動） ASD：抑揚感 AD（愛着障害）：ムラがあるなどの違いがある。

時間の都合上、ここまでで講演は終了した。



南河内地区支援教育研究会 講演会
南河内地区小・中学校支援教育研究総会
小・中学校別総会

総会次第	
平成30年6月27日	講師 米澤 好史先生 (和歌山大学教授)
平成30年度 南河内地区小学校 支援教育研究会総会・講演会	講演 「愛着障害の理解と支援」
	講師：米澤好史先生 (和歌山大学教授)
	小・中・高別会 合同総会 (3:50~4:00)
	(1) 開会の言葉
	(2) 会長あいさつ
	小・中・高別会 合同総会 (4:10~5:00)
	(1) 開会の言葉
	(2) 報告書
	(3) 議案
	①平成29年度事業報告
	② 同 収支決算報告
	③ 同 会計監査報告
	④平成30年度役員選出
	副役員 紹介
	⑤平成30年度事業計画案
	副役員 紹介あいさつ
	⑥ 同 予算案
	(4) 閉会の言葉
南河内地区小学校支援教育研究会	
※ すばるホール (観客の間)	

南河内地区小・中学校支援教育研究総会、小・中学校別総会

平成 29 年度事業報告、収支報告を行った。また、平成 30 年度役員選出、事業計画案、予算案などを報告し、承認された。